

# 経済建設委員会会議録

平成24年3月26日

10時45分

開会

10時51分

閉会

網走市議会

午前10時45分 開会

○佐々木委員長

ただいまより経済建設委員会を開会いたします。

本日の委員会ですが第1回定例会に追加付託されました議案1件について審議いただきます。

議案第36号、平成23年度網走市一般会計補正予算、土木費関係の追加議案でございます。まず説明をお願いいたします。

○鈴木土木管理課参事

平成23年度一般会計、道路橋梁費、除雪事業及びロードヒーティング管理事業の補正予算について御説明申し上げます。追加議案資料1ページから2ページ、資料18号をごらんいただきたいと思っております。

今議会におきまして、既に除雪事業のうち、降雪時の除雪作業に係る除排雪車両の民間借り上げ経費、直営車両の燃料費についての追加補正を御承認いただいたところでございますが、今般つるつる路面对策及び坂道凍結路面对策に要する経費に不足が見込まれることとなりましたことから、所要の経費について追加補正を行おうとするものでございます。

補正の理由及び内容でございますが、今年度の冬の気象状況につきましては、気象庁の今年の冬の天候概況の報道にもありましたが、12月から2月まで3カ月連続して低温となりまして、北日本ではここ10年で最も気温が低い冬となっております。網走につきましても、過去3年と比較をしまして12月から2月まで、日の平均気温でマイナス2.3度、真冬日の日数がプラス18日の69日間と例年にない低温続きとなりましたことから、積雪量の減少が進まないとともに、昼夜を通しまして道路路面の雪が圧雪アイスバーン状態で残り、舗装路面が露出するといった状態が極めて少ない状況となったところであります。

つるつる路面の滑りどめ対策につきましては、市内129路線、延長117キロメートルを対象に、朝夕1回の滑りどめ材散布が平常の実施状況であります。今年度は凍結路面が緩まず車両の通行により効果を失い融雪滑りどめ材の散布を日中や夜

間にも切れ目なく実施する必要が生じました。さらに自動車事故の件数も2月まで昨年度より34件増加し、警察からの事故発生路線の滑りどめ材散布要請も大幅に増加をいたしました。また西山通の開通もあり、融雪材ビリ砂利などの滑りどめ材、並びに散布委託事業に2倍以上の増加が見込まれることとなったところでございます。

また、坂道舗装路面の温度、水分を検知し稼働しますロードヒーティングにつきましても、路面温度が平年より4度から5度低い状況でありましたことから、路面に残る雪の多さと融雪温度まで上昇の稼働時間が大きく増加をしまして、電気料金の大幅な増額が見込まれることとなったところでございます。

追加経費としましては、除雪事業のうち融雪材の散布作業に係る委託料2,230万円、融雪材などの滑りどめ対策費用、原材料費1,520万円、さらにロードヒーティングの電気料2,430万円の合計6,180万円でございます。補正額であります。除雪事業につきましても補正前の額2億2,242万円に散布作業に係る委託料2,230万円と原材料費1,520万円の合計3,750万円を追加し、補正後の額2億5,992万円でございます。ロードヒーティング管理事業につきましては、補正前の額5,707万3,000円に、2,430万円の追加をし、補正後の額8,137万3,000円としようとするものでございます。

財源内訳につきましては一般財源でございます。

説明について以上でございます。

○佐々木委員長

皆さんから質問等ございますか。

○栗田副委員長

確認ですけれども、当初予算からみるとかなりの追加補正という形になっています。基準がちょっと分からないのですけれども、特別交付税か何かの対象になるのですか。

○大澤副市長

今回の補正の財源は今参事のほうから説明があったとおり、市税を充てております。特別交付税の話では一応算定のところには入ってくるので、ただそれがいくらというのはわかりませんが

も、一応そういった絡みもあります。

○佐々木委員長

そのほかございませんか。

では全会一致をもって原案可決すべきものと決定いたします。

そのほか理事者側から何か案件ありませんか。

(「ありません」の声あり)

○佐々木委員長

委員のほうから何かありませんか。

(「ありません」の声あり)

○佐々木委員長

ないようですので、以上で経済建設委員会を閉会いたします。

午前10時51分 閉会